



熊本市立大江小学校

# ときめき

2023.2.28(火)

No.162



文責  
松永

## 「いのちの大切さを考える講演会」がありました（5年生）

熊本県助産師会の協力による「いのちの大切さを考える講演会」は、今年度から、熊本市の小学校でも実施されることになり、本校も希望して実現した講演会でした。2月27日（月）の5校時、体育館に集まった5年生を対象に、助産師の田中さんから話をしていただきました。人のいのちのはじまりから、講話は始まりましたが、スライドを活用しながら、具体例をあげての話でしたのでわかりやすく、子どもたちも聴き入っていました。特に、子宮をかたどったシートを一人一人に配られました。そのシートを光にかざしてみると、すごく小さな点があることに気づきます。受精卵の大きさがその点ほどということを知り、驚いていました。その小さな小さな受精卵がおなかの中でどんなふうに成長していくのか、時間の経過にあわせて話がありました。へその緒の役目についても、赤ちゃん人形を使って話されましたし、途中、心音を聞かせてもらったり、画像を見せてもらったりもしましたが「すごい」というつぶやきも聞かれました。そして出産…この説明は、赤ちゃん人形と骨盤まわりの模型を使いながら、赤ちゃんがどうやってせまい産道を通して出てくるのか、誕生した時に産声をあげるわけなども教えてもらいました。赤ちゃんは誕生するタイミングで息を吸って声を出しているようですが、



それは肺の中の水を出して、呼吸ができるようにするためだそうです。また、おなかの中で指しゃぶりをしているのはお乳を飲むための練習だったり、羊水の中で排泄機能を整えたりと、誰に教えてもらうわけでもなく成長して誕生を迎えるわけです。いのちの始まりも神秘的ですが、赤ちゃんが誕生するというのもすごい生命力だとあらためて感じました。そうして産まれてきたいのちだからこそ、大事にしてほしいと話されました。そして、プライベートパーツの言葉や相手が嫌と思うことはしない、自分が嫌と思うことは嫌と伝えていいこと、でもその時の伝え方は大事だということ、人の違いがわかると受け止め方も変わってくるといった話もされました。また、SNSを通して知らない相手に相談することは危険で、深刻な相談は信頼できる大人にしてほしい、奇跡の連続で生まれたオンリーワンの自分を大事にしてほしいと伝えて、講演会は終了しました。話の中で紹介された詩も、子どもたちの心に響いたと思います。



### あなたの命の力

あなたはすごい 生まれる力を発揮した 生きる力がある  
 あなたはすごい 成長する力を発揮した 成長する力がある  
 いじめられるために 生まれたのではない  
 いじめるために 生まれたのではない  
 命を大切にする力をもっている

